

令和 2 年度

特別養護老人ホーム 亀天荘

指定短期入所生活介護事業所 亀天荘

事業報告書



## 令和2年度 特別養護老人ホーム亀天荘 事業報告書

### (1) 理念・基本方針

#### (運営理念)

亀天荘に関わる全ての人が、穏やかに幸が得られますように

#### (運営方針)

- ① ご利用者やご家族との交流を積極的に図りながら、施設の生活に対する意向を把握しつつ、施設がご利用者やご家族を支えることができる体制を作ります。
- ② ご利用者やご家族の意向を汲み取った上で、医療機関との連携を密に図り、可能な限り住み慣れたこの場所で、安心していつまでも暮らせるよう支援します。
- ③ 多職種協働により作成されたケア計画をもとに、生活や心身のケアを行い安定した生活を送って頂くことにより、稼働率の向上を図ります。

#### (重点目標)

- ① 法人内におけるご利用者の終の棲家としての役割を果たすため、重度化するご利用者にも対応できるよう、多職種間で連携してケアを提供しました。ご家族の意向確認や必要時には適切に医療につなぐことで、できる限り施設での生活を続けて頂けるようにしました。また、今後看取り期のご利用者にも対応できるようにするため、看取りケアについての内部研修を行い、職員全体で知識や技術の向上を図りました。
- ② アセスメントを充実させることで、ご利用者一人ひとりの状態を把握し、職員間で共有できるようにしています。また、毎月ケアカンファレンスを開催しており、各計画書の検討やご利用者ごとの対応について多職種で検討することで、その時のご利用者に合ったケアを提供できる体制をとっています。ご利用者状態については、体調面だけでなく細かな状態の変化についてもご家族にこまめに報告することで、施設での生活が見えるように努めました。
- ③ 組織の体制については、まず業務遂行表とそれぞれの業務の細かいルールを定めたルールブックを作成することで、仕事の役割を明確にしていま

す。また、業務についての見直しを随時行い、職員一人一人の意見を検討して反映することで、全員で業務を改善していく体制をとっています。また職員と個別に話をする機会をつくることで風通しのよい職場環境づくりに努めています。

- ④ 地域交流については、ボランティアの受け入れや中高生の職場体験を計画していましたが、新型コロナウイルス感染症の流行により中止となりました。地域福祉活動としては、法人内の他の事業所とも連携を取り、相談に来られた方を適切なサービスにつなげられるように努めました。

#### ⑤各種委員会

##### ● 身体拘束

ご利用者の身体状況を把握する事で身体拘束ゼロを実施しました。身体拘束についての内部研修を定期的に行い、職員全体の知識の向上につとめました。また、身体拘束につながるような不適切ケアを予防するために、毎月ご利用者を決めてモニタリングを行い、対応方法の検討をしました。それを職員間で共有することで全体のケアの向上を図りました。

##### ● 事故防止

施設内で行った事故やヒヤリハットについては都度報告書を作成してミーティングを行い、再発防止案の検討をしています。毎月事故とヒヤリハットの統計をとりグラフ化することで分析を行いその結果を委員会で検討しています。また事故予防につながるヒヤリハット報告書を多く上げた職員については評価をすることで、職員全体の意識を高めるようにしています。内部研修では、グループワークで危険予知訓練を行うなど、より実践的な事故予防について学習しました。

##### ● 虐待防止

ご利用者の心身状況や虐待の知識を高める事で虐待ゼロを実施しました。委員会を中心に月ごとに対応が難しいご利用者を決めてモニタリングを行なうことで、よりよい声かけや介助のタイミング等を検討し、虐待や虐待につながる不適切ケアの予防に努めました。また、内部研修では虐待についての基本的な知識のほか、認知症についても取り上げることで、より実践的な知識を習得し、実際のケアで活かせるようにしました。

- 感染対策

施設で発生しやすい感染症についてや手洗い、手指消毒、ガウンテクニックといった基本的な感染症対策についての勉強会とともに新型コロナウイルスについての勉強会も実施しました。新型コロナウイルス感染症防止のため、外出前後のアルコール消毒を徹底して行い、ご家族の面会も制限させていただきました。本年度はご利用者、職員ともに施設内での感染者は発生しておりません。

- 褥瘡防止

委員会が中心となって褥瘡がある方だけでなく、褥瘡のハイリスク者についても、各専門職が皮膚状態、栄養状態、ベッドのマット、ADL等多角的にケア方法を検討しました。また介護職員が中心となって皮膚観察をこまめに行い、異常を発見した場合は看護師が速やかに適切な処置を実施することで、状態の改善に努めました。

- 介護技術

委員会が中心となって毎月テーマを決めてそれについての実践的な研修を行いました。オムツのあて方については外部の講師を招いたり、基本を押さえた上で、ご利用者ごとのポジショニングや移乗方法といった個別の対応方法について学ぶことで、職員全員がすぐに実践に行かせる内容のものを実施しました。

## (2) 利用者に対するサービス

- 食事

ご利用者それぞれの状態を把握し、嚥下状態に合った食事形態を検討し安全な食事が行えるように努めました。また、安全面に加え楽しみのある食事を行って頂けるよう、季節を感じていただけるような献立や、味や食感・見た目などにも工夫し食事の提供を行いました。食器についてのご利用者にあったものを準備し、自力摂取が出来るような支援を行いました。

- 入浴

介護職員や看護師にて、身体状況を確認し入浴が出来る状況であるか適切な判断のもと安全な入浴が出来るよう努めました。普通浴槽、チェア一浴、寝たきりでも入浴できる特殊浴槽など、充実した入浴設備を活かしてご利用者ごとの身体状況に合わせて負担なく入浴していただける体

制を整えています。

- 排泄  
ご利用者の日常生活動作を把握し、身体状況に合った排泄ケアを行えるように努めました。ご利用者の残存機能を活かしつつ負担がかからないよう、複数名で介助を行うなど、プライバシーにも配慮しながら、その人に応じた適切なケアを実施しました。
- 機能訓練  
多職種協働により、身体状況や生活状況の把握・アセスメントを行い、生活の質が維持または向上出来るように機能訓練を実施しました。また、機能訓練指導員からの機能訓練だけではなく、看護師や介護職員など日常生活における機能訓練を実施していくことで、身体機能の向上を図りました。
- 健康管理  
看護師により毎日のバイタルチェック等、日々の健康管理を行いました。またご利用者ごとの既往歴や現病歴を把握し、病状に合った観察を行い異常時の早期発見に努めました。体調面の変化についてはすぐにご家族様に報告することで、ご家族にも状態がきちんと伝わるように努めました。ご利用者の体調不良時には多職種が連携して状態観察を強化し、必要時にはすぐに適切な医療につなげられるような体制を整えました。
- 行事  
感染症予防の為、外出行事の実施が難しい中、職員が工夫して施設の中でも楽しんで頂ける行事を企画して実施しました。施設内に大鳥居を作って初詣をしたり、季節の花を作って鑑賞するなど、季節を感じられるものや、体を動かすゲームなどを実施しました。
- ボランティアの受け入れ・地域行事参加状況  
新型コロナウイルス感染予防の為、夏祭りやボランティアの受け入れは中止しました。
- 防火・災害対策  
年2回の防災訓練や地震訓練、防犯訓練、風水害等の訓練を実施し、災

害時の対応を確認しました。また定期的な防火設備の点検や食料品等の備蓄も確認しました。

- 職員研修

外部研修の他、各種委員会が行う内部研修を通して知識、技術の向上を図りました。基本的な知識の習得だけでなく、実際にご利用者にも協力していただくなど、より実践で使える内容の勉強会になるようにしました。



## 令和2年度（介護予防）短期入所生活介護事業所亀天荘

### （1）基本方針

住み慣れた環境の中で在宅生活をより長く継続する為に、ご家族、地域、他事業所と連携し、自立支援に努めます。

### （運営方針）

- ①特養併設の強みを生かし、軽度の方から重度の方まで様々な状態のご利用者に安心できるサービスの提供を行います。
- ②介護支援専門員や各職種が情報を共有し継続して在宅生活が送れるよう支援していきます。
- ③関係各所と協力し、地域福祉の拠点として要支援者や要介護者の生活のサポートを行っていきます。

### （重点目標）

- ① 軽度の方から重度の方まで対応できる特養併設の強みを生かしたサービスを実施しました。在宅での生活環境も含めたアセスメントを行うことで、サービスが在宅での生活とつながったものになるようにしました。ケアプランについては、多職種によるケアカンファレンスで検討することで、ご利用者一人ひとりにあったケアが提供できるようにしました。また、利用中のご様子についてはお手紙でお知らせするとともに、状態に変化が見られた場合には都度報告することで、ご利用者、ご家族ともに安心して利用していただけるようにしました。
- ② 新型コロナウイルス感染症予防の為、地域の方が参加できる行事やイベント、ボランティアの受け入れは中止となりました。地域福祉の窓口として、他の事業所とも連携し、相談に来られた方を適切なサービスにつなげられるように支援しました。ショートステイのご利用をきっかけに亀天会を知っていただき、これからも利用したいと思っただけけるようなサービスの提供に努めました。

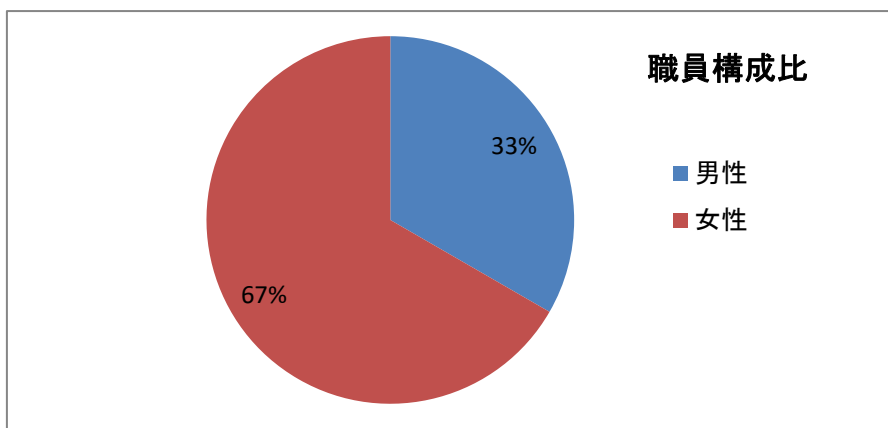


## 1. 事業所

### ① 概要

事業所名	特別養護老人ホーム 亀天荘		
事業所種別	特養・短期入所		
事業所住所	西条市大野190番地1		
管理者職名	施設長 山田 古津枝		
職員数	男性	女性	総数
	14	28	42

(令和3年3月31日現在)



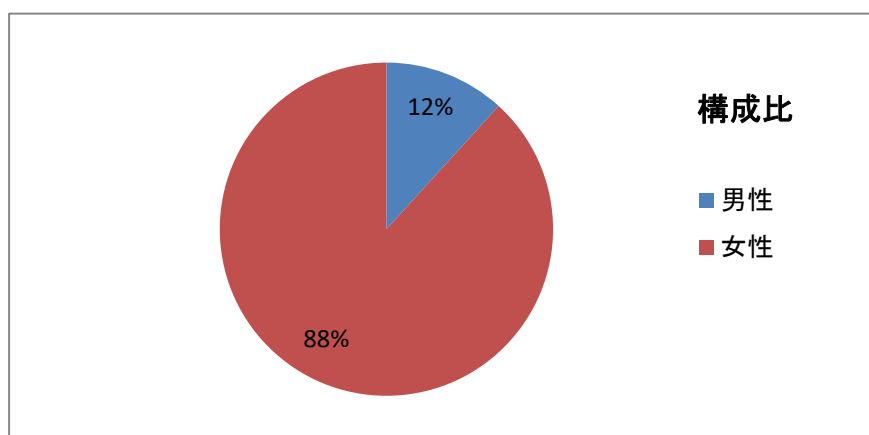
### ②職員紹介

特別養護老人ホーム亀天荘の職員は、施設長、生活相談員、管理栄養士、事務員、介護支援専門機能訓練指導員、介護員、看護師、医師(非常勤)で構成されています。また外国人技能実習生を受け入れています。

有資格者は介護支援専門員が2名、管理栄養士が1名、介護福祉士が10名、看護師が2名、准看護4名となっており、各職種の専門性を活かしながら、多職種協働によるサービスを提供しています。

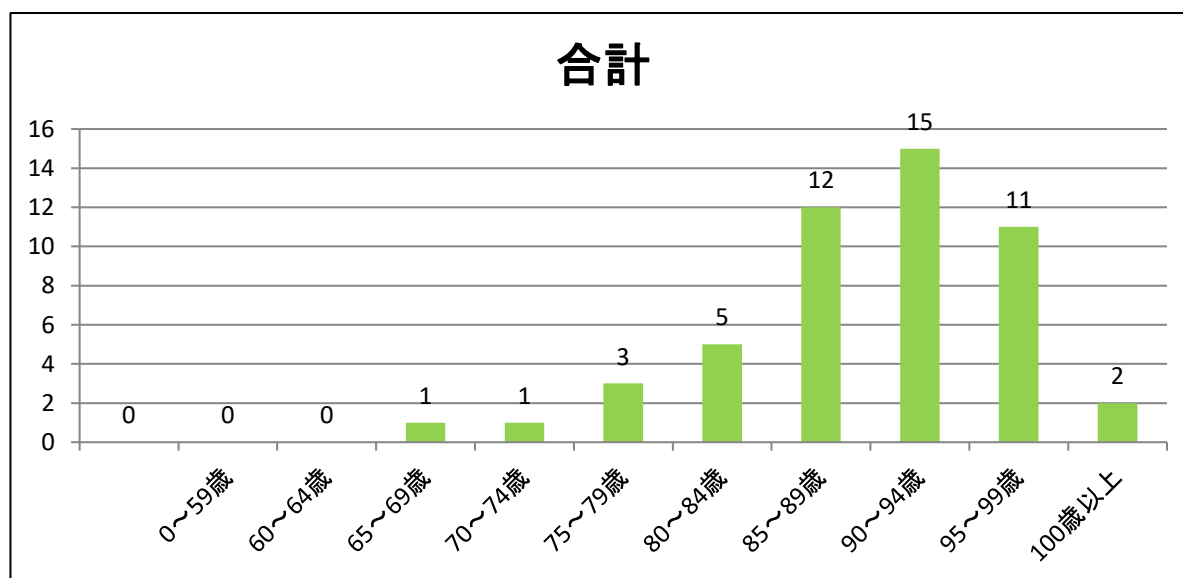
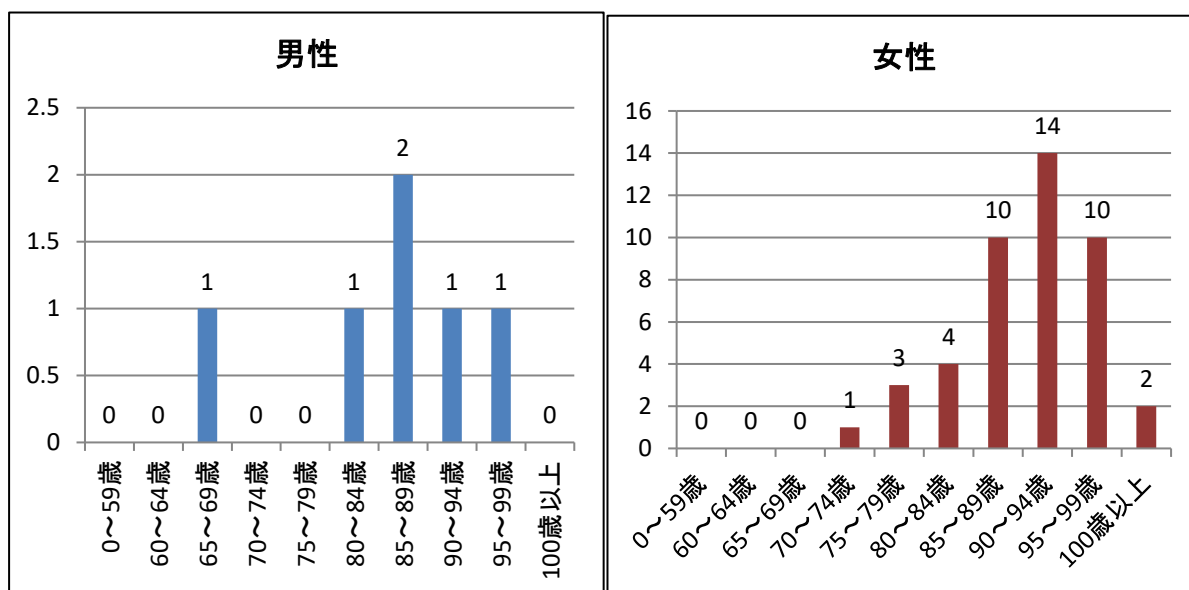
## 2. 定員及び現在人員(令和3年3月31日現在)

定員	現在人員	性別	
		男性	女性
50	50	6	45



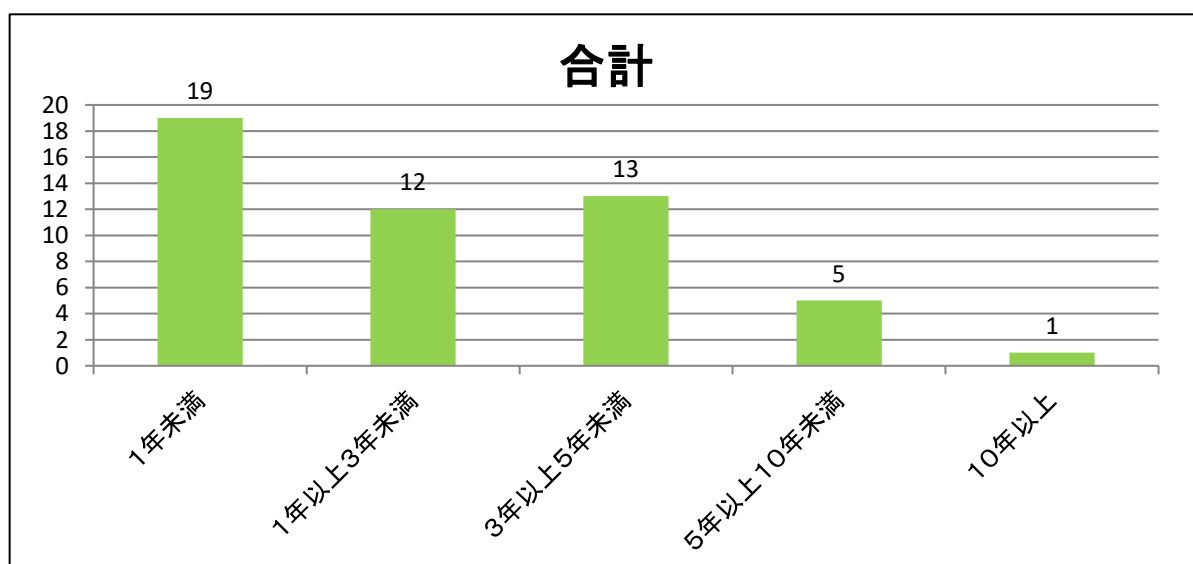
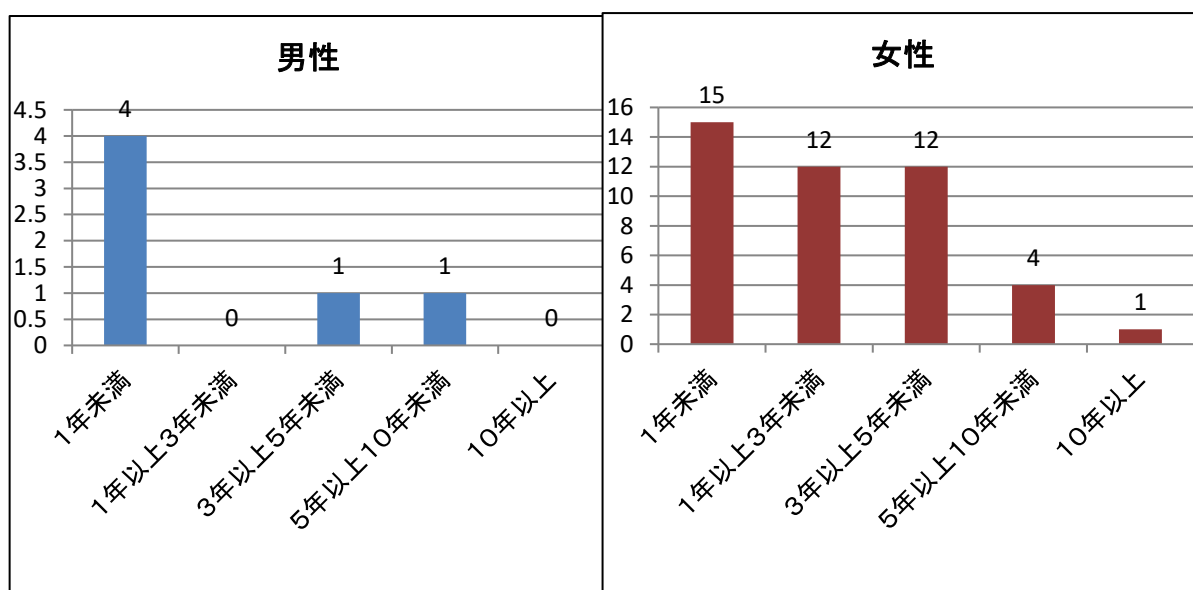
### 3. 年齢別人員

	男性	女性	合計人数と構成比	
			人数(名)	構成比(%)
0～59歳	0	0	0	0
60～64歳	0	0	0	0
65～69歳	1	0	1	2
70～74歳	0	1	1	2
75～79歳	0	3	3	6
80～84歳	1	4	5	10
85～89歳	2	10	12	24
90～94歳	1	14	15	30
95～99歳	1	10	11	22
100歳以上	0	2	2	4
合計	6	44	50	100
	最高年齢	最低年齢	平均年齢	男女平均年齢
男性	99	66	85	
女性	102	71	89.9	



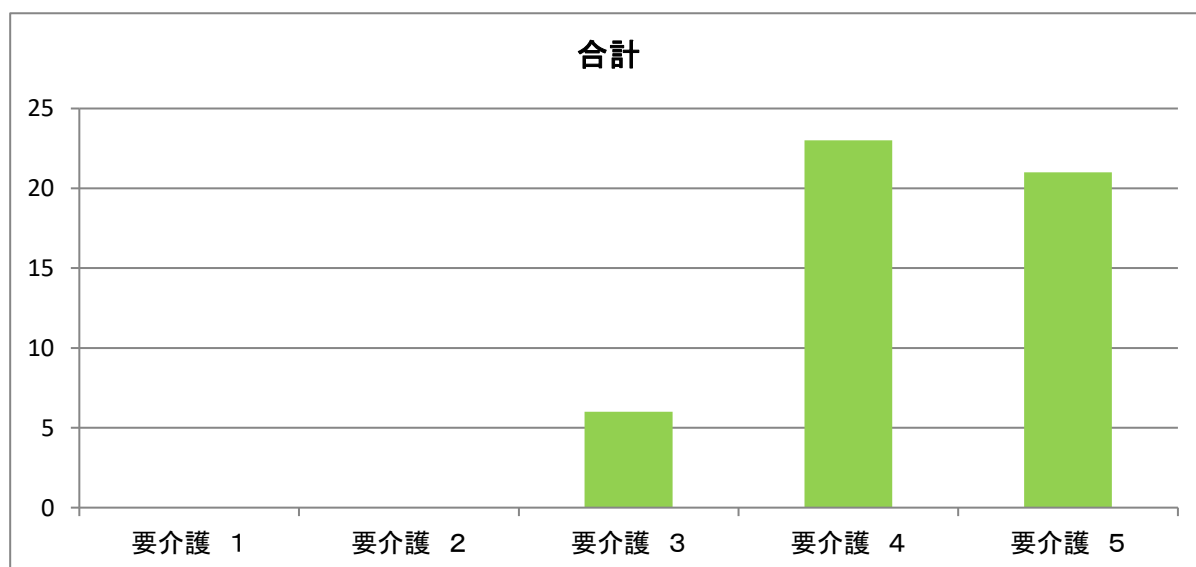
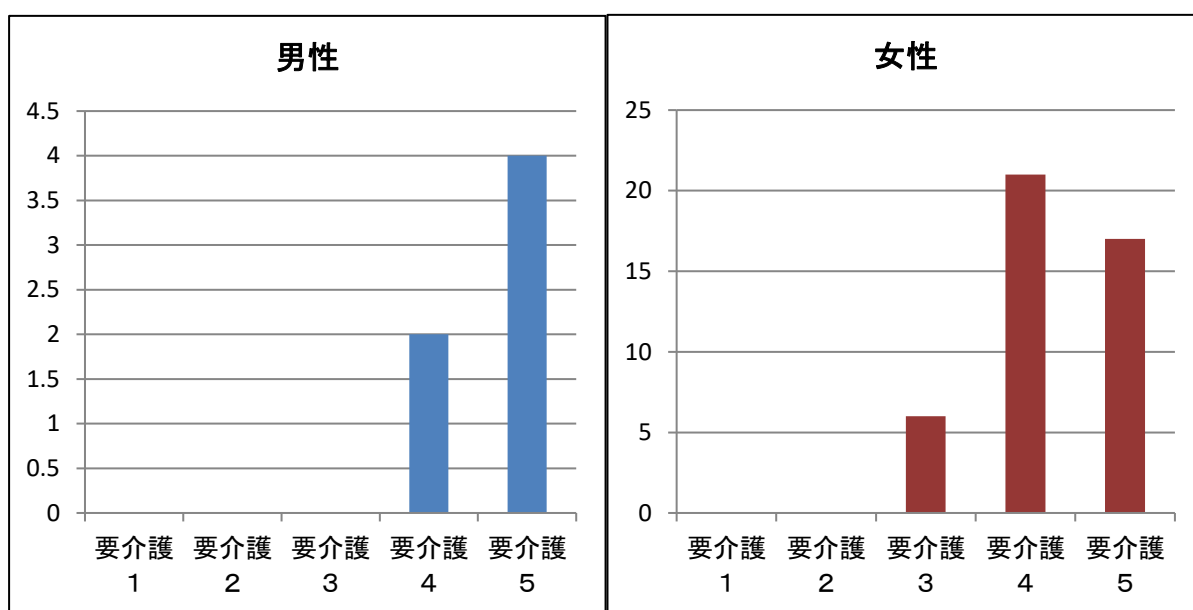
#### 4. 入居期間別人員

	男性(名)	女性(名)	合計(名)	構成比(%)
1年未満	4	15	19	38
1年以上3年未満	0	12	12	24
3年以上5年未満	1	12	13	26
5年以上10年未満	1	4	5	10
10年以上	0	1	1	2
合計	6	44	50	100
平均入居期間	1年9ヵ月	3年4ヵ月	全体	3年11ヵ月



### 5. 平均介護度別人員

	男性(名)	女性(名)	合計	
			人数(名)	構成比(%)
要介護 1	0	0	0	0
要介護 2	0	0	0	0
要介護 3	0	6	6	12
要介護 4	2	21	23	46
要介護 5	4	17	21	42
合計	6	44	50	100
平均介護度	2.80	4.68		



6. 面会状況(令和2年4月1日 ~ 令和3年3月31日迄の1年間)

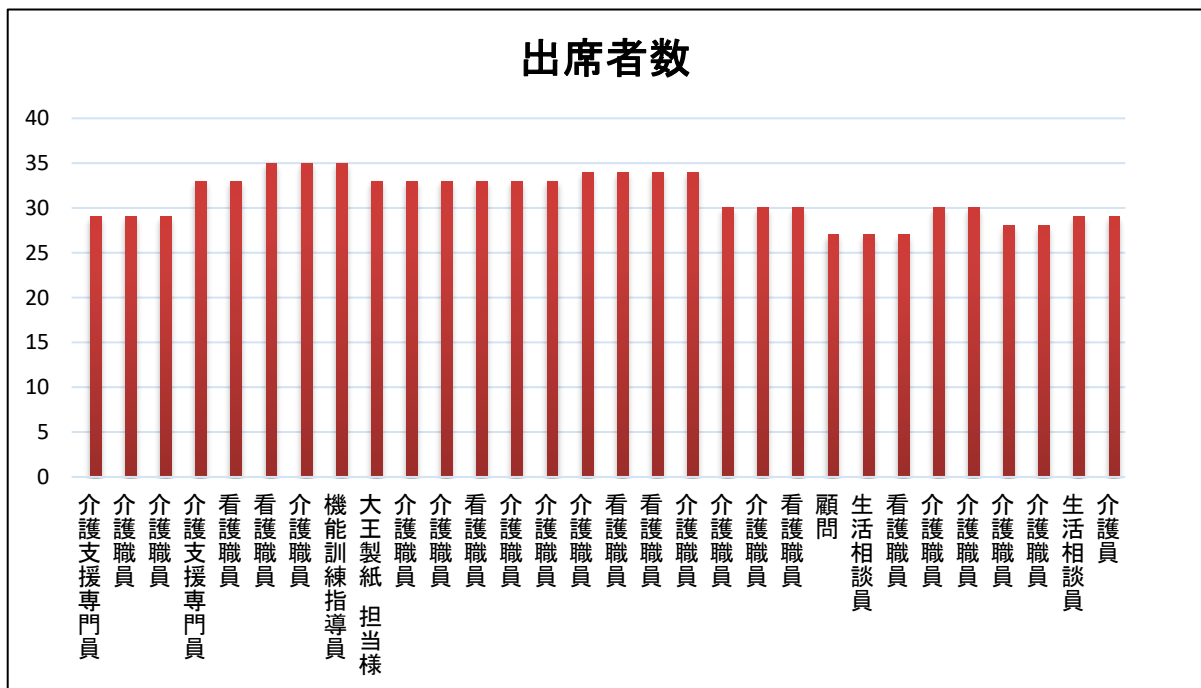
総数	18(件)
1か月平均	87(件)
最高(1人あたり)	2(件)
最低(1人あたり)	0(件)
年間1人平均	0.36(件)
1か月1人平均	0.004(件)

7. 研修実施状況

**【内部研修】**

実施月	研修内容	研修講師	出席者数
4月28日	言葉遣いについて	介護支援専門員	29
	身体拘束の与える影響について	介護職員	29
	介護技術(移乗)	介護職員	29
5月28日	ケア計画と記録の必要性について	介護支援専門員	33
	緊急時の対応について	看護職員	33
6月23日	正しい褥瘡予防とケアについて	看護職員	35
	介護技術(義歯装着と目やにの取り方)	介護職員	35
7月28日	誤嚥について	機能訓練指導員	35
	適切なオムツの使い方について	大王製紙 担当様	33
	高齢者虐待について	介護職員	33
8月25日	介護技術(トイレの介助方法)	介護職員	33
	看取りについて	看護職員	33
	事故防止について	介護職員	33
9月24日	介護技術(拘縮がある方のポジショニング)	介護職員	33
	介護技術(拘縮がある方のオムツ交換)	介護職員	34
10月27日	感染症対策について	看護職員	34
	ガウンテクニックについて	看護職員	34
	介護技術(拘縮がある方の手指清拭)	介護職員	34
11月24日	身体拘束について	介護職員	30
	介護技術(拘縮がある方の座位時のポジショニング)	介護職員	30
	新型コロナウイルス対策について	看護職員	30

12月22日	防犯について	顧問	27
	防災について	生活相談員	27
	褥瘡予防について	看護職員	27
1月26日	虐待防止について	介護職員	30
	介護技術(永久気管孔のある方の入浴方法)	介護職員	30
2月24日	危険予知訓練(KYT)について	介護職員	28
	介護技術(拘縮がある方のポジショニング)	介護職員	28
3月23日	防犯訓練	生活相談員	29
	介護技術(目やにの取り方)	介護職員	29



**【外部研修】**

実施月	研修種類	研修内容	出席者職種
令和2年7月17日	講義	認定調査員現任研修	介護支援専門員
令和2年11月4日	講義	新型コロナウイルス対策実技研修	看護職員
令和3年2月16日	講義	技能実習指導員講習	生活相談員・看護職員 介護支援専門員
令和3年2月17日	講義	技能実習責任者講習	生活相談員
令和3年2月18日	講義	技能実習生活指導員講習	管理栄養士・看護職員・介護 職員・介護支援専門員
令和3年2月27日	講義	フォローアップ研修(ビジネスマナー)	介護職員

## 8. 食事

### 【栄養所要量】

区分	1人1日当たり給与栄養量	1人1日当たり荷重平均所要量
エネルギー	1563kcal	1504kcal
たんぱく質	54.7g	54.0g
脂質	35.3g	35.4g
カルシウム	832mg	637mg
鉄	8.9mg	6.1mg
レチノール当量	715 $\mu$ g	669 $\mu$ g
ビタミンB1	1.33mg	0.83mg
ビタミンB2	1.08mg	0.89mg
ビタミンC	110mg	100mg

### 【献立例】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
たけのこご飯	吉野家親子丼	とろろそば	冷やしよもぎそば	野菜のせうどん	芋ご飯
麩の辛子和え	肉そば	スペイン風オムレツ	うなぎ寿司	さけ寿司	松風焼き
にゅうめん	ナポリタン	鶏肉の梅焼き	夏野菜カレー	そうめん	さわらの香味焼き
ビビンバ丼	さけの親子散らし	あさりのちらし寿司	中華丼	いなり寿司	かに風味チャーハン
ラーメン	よもぎそば汁	卵とし丼	炊き込みご飯	ざるそば	八宝菜
さくらゼリー	お茶プリン	あじさいゼリー	黒糖ドーナツ	レモンゼリー	おはぎ

10月	11月	12月	1月	2月	3月
かぼちゃカレー	炊き込みご飯	大根ご飯	かに卵あんかけ	豚肉のおろしポン酢丼	なれ寿司
栗ご飯	きのこカレー	五目うどん	肉うどん	チキンライス	山菜そば
鶏肉のマスタード焼き	チキンカツ	星のハンバーグ	七草粥	いわし磯香フライ	散らし寿司
きつねうどん	豚肉の柳川風	栗赤飯	おせち	鮭のおかか葱焼き	ハヤシライス
散らし寿司	中華丼	年越しそば	かき揚げ	節分巻き寿司	塩昆布混ぜご飯
かぼちゃプリン	さつま芋ケーキ	りんごケーキ	ぜんざい	チョコプリン	雑まんじゅう

9. 行事・クラブ活動及びボランティア受入れ実施状況表

**【行事・クラブ活動】**

実施月	指導援助者	内容	参加者数
4月3日	介護職員	ホールでお花見	25名
4月27日	介護職員	誕生日会	25名
5月15日	介護職員	山越えゴルフ	9名
5月28日	介護職員	誕生日会	26名
6月4日	介護職員	運動会	20名
6月25日	介護職員	誕生日会	26名
7月6日	介護職員	七夕会	25名
7月25日	介護職員	誕生日会	26名
8月2日	介護職員	花火	23名
8月27日	介護職員	誕生日会	22名
9月25日	介護職員	誕生日会	27名
9月27日	介護職員	敬老会	54名
10月15日	介護職員	お月見	23名
10月29日	介護職員	誕生日会	25名
11月16日	介護職員	歌謡ショー	25名
12月25日	介護職員	クリスマス会 & 誕生日会	26名
1月4日	介護職員	初詣	12名
1月28日	介護職員	誕生日会	26名
2月3日	介護職員	節分	27名
2月25日	介護職員	誕生日会	26名
3月12日	介護職員	ひな祭り	26名
3月25日	介護職員	誕生日会	24名

**【地域交流・ボランティア受入れ状況】**

実施月	団体名	内容	参加者数

10. 苦情状況

**【苦情状況】**

日付	法人との関係	内容
令和2年度		特になし